



学長 小池 明

「五十年の歴史は誇らしいが通過点と考えるべき。 新たな歴史の創造は私たちの手で！」

本学は今年創立五十周年を迎えました。記念式典は9月20日に行われます。

1973年、本州女子短期大学を本州大学（現在の長野大学の前身）から切り離し、運営母体が変わったのを機に新しく上田女子短期大学に改称の上、再出発したのです。前身の本州女子短大の6年間を通算すると56年、その間地域に根差す高等教育研究機関として一貫して女子の高等教育を担い、卒業生は一万一千余人に達します。彼女たちは有為な人材として全国で活躍しています。凡そ、学校の声望は卒業生の評判に掛かっているとされるからには、我が卒業生の存在は心強い限りです。

草創期の6年間は固より上田女子短大となった時でさえ女子の大学進学率は30%強、従って新設の大学を作り上げるのは教職員だけでなく学生の我々もとの意気込みで本学関係者が一丸となって邁進したと確信しています。我々は先輩方のその血気、熱意、努力、加えて同窓会、後援会、更に地域の皆さんの温かい支えに与って現在が在ることに感謝しなければなりません。

在学生諸姉に於かれては五十周年の時に在学していることを偶々の偶然と思うことなく、次の50年、更にその先の未来の本学をどう造り上げるのかに御自身が大きく関わってくるのだとの気概を強く持って戴きたいと願っています。次の半世紀を経た大学像、或いは高等教育の在り様がどうなっているのかは今の我々の想像を超えていると謙虚に思うべきでしょう。併し、曾てダーウィンが喝破した如く、生存に必要なのは強さ、賢さではなく変化に適應できることだとするならば、どの時代に在っても常にその時々々の社会のニーズに適時適切に対応していくこと、その対応力を身に付けることこそが本学の学びの成果であることを肝に銘じて充実した学生生活を過ごして戴くことを願って已みません。



学ぶことと主体性

幼児教育学科 学科長
市東 賢二

2017年に文部科学省より「主体的・対話的で深い学び」が提示されてから暫くたった。これまでも

「ゆとりある学校生活」「心豊かな人間の育成」「[生きる力]の育成」などの色彩豊かな標記がなされてきたが、実現されなかったのはなぜだろう。理由の一つは「勉強」から抜け出せなかったからではなからうか。「勉強」つまり勉めて強いる（又は強いられる）こととしての用法は、江戸時代の大阪の商人たちが勉強していた（気は進まないが、頑張って値引きしていた）ことから、のちに学習することへと転じていったらしい。しかし、学ぶということ自体が、そもそも主体的な行為であって、強いられるものではない。その本来の意味に立ち返る必要がある。勉強の変容してきたプロセスはともかく、学生（学ぶ者）を教え育む、あるいは教え導く者としての大人の責任が問われている。



卯年に寄せて

総合文化学科 学科長
大橋 敦夫

兎に関する諺として、「二兎を追う者は一兎をも得ず」は、あまりにも有名ですね。欲張り

を戒めるものですが、大谷翔平選手の活躍もあって、二刀流に対する風当たりが少し変わってきたように感じられます。

お隣、埼玉県の高校には、「少なくとも三兎を追い」を校是に掲げるところがあります。三兎とは、勉強・部活・学校行事。これらを実りあるものにするという点では、大学生生活も同じですね。

新型コロナウイルスの感染拡大を正しく恐れつつ、三兎を追っていきましょう。

幼児教育学科Topics

学科紹介

得意分野をさらに深められる「自然保育」「福祉社会」「表現文化」の各コースがあり、いずれも幼稚園教諭二種免許状・保育士資格の取得はもちろん、専門性の高い保育者を目指しています。

附属幼稚園でのプレ実習を始め、裏山での自然保育、あそびプロジェクト、ゼミ活動等を通じて日常的に子どもたちと触れ合いながら学んでいます。



幼児教育学科1年

みやじま あい
宮島 藍さん(上田染谷丘高等学校出身)

私は、子どもの気持ちに寄り添い尊重しながら子どもがのびのびと成長できるようサポートしていただける保育者を目指して上田女子短期大学に入学しました。

入学して2カ月、日々授業や課題に追われ忙しい毎日ですが、とても充実していると感じています。

今は、週1で預かり保育のアルバイトをしています。他にも子どもと関われるボランティアなどに積極的に参加していきたいと考えています。それらの経験を通してより深く子どもについて考え、保育と向き合っていきたいです。

まだ始まったばかりですが、これからの保育をより良い方向へ向けられるよう全力で頑張ります。



幼児教育学科2年

まきの ももか
牧野 百華さん(文化学園長野高等学校出身)

1年次、不安でいっぱいだった初めての实習も、実習に向けての準備を手厚くサポートしていただいたおかげで、無事に終わることができました。実習前は多くの不安を抱えていますが、先生方が一緒に考え、相談にのってくださるので安心して取り組んでいます。

苦手なピアノも、クラス分けで自分に合ったペースで進められるためとてもありがたいです。2年次では、個別レッスンで、園から指定された曲も細かくみてもらえるため、実習で自信を持ってピアノを弾くことができました。

短大での学びを活かし、広い視野で子どもたちのことをみて関われる保育者を目指します。

子どもといっしょにみどりのなかを歩いてみたら

—かつての子ども、いまの子ども、これからの子ども—

アリオ上田様からの依頼は「子どもの外遊びの重要性と保育職の魅力、自然保育とSDGsの繋がりを伝えてほしい」とのことでした。自然保育コースの学生+学生有志が、アリオ上田様、アーティストの方、自然保育コース教員と共に企画を構想し、カタチにしました。

学生がまず考えたことは、アリオ上田の太陽のコートを「自由な広場にする」ことでした。そして、「子どもの視点で自然をみる」と「『子ども—おとな』を結びつけたい」という思いを持っていました。



園などの保育のフィールドではない場所で、保育職以外の方々に「保育」を伝えるという経験をした私たち。その難しさに直面した学生もいました。自分の思いをしっかり持っているからこそ、ぶつかった壁だと思えます。

これからも学生と教職員は「保育」を社会に伝えていくことを続けていきます。

子どもと保育の魅力を発信！

アリオ上田様で2度にわたり開催した「子どものミカタフェス」。これは、社会的問題である少子化や育児力の低下、保育士不足に対して、「子どもの魅力」と「保育のよさ」を発信している活動です。

当日は、体験型展示を通して、大人が子どもの気持ちを考えたり、子ども理解に繋がる学びを掲示・発表したりと、様々な試みがなされました。また、約700人の保育者から寄せられた「保育のよさ」メッセージも展示しました。

前年度の学海祭が契機となったこの活動は、多くの学生や卒業生・教職員・保育関係者はもとより、他職種の方との繋がりも生み出されています。問題が大きいだけに、内容も発信方法も試行錯誤の連続ですが、常に生み出される課題を紐解きながら、様々な立場の方々と繋がる場を創り続けることが重要と考えています。



総合文化学科 Topics

学科紹介

さまざまな免許・資格・検定にチャレンジする学生が、活気に満ちたキャンパス・ライフを送っています。蔵書数8万7千冊を誇る附属図書館、自然光あふれる学生ホール等、各自がお気に入りの場所で目的達成に向けて励んでいます。



総合文化学科1年

さきもり ななり
笹森 菜愛さん(長野商業高等学校出身)

私が上田女子短期大学に入学した理由は、私の興味のある分野を全て学ぶことができるからです。私は将来、なりたいものが明確になく、進学するにも、就職するにも、決め手がありませんでした。しかし、上田女子短期大学には、私の学びたい分野がたくさんあり、その中から自分に合ったものを見つけられるのではないかと思います。入学しました。

総合文化学科では、どの分野も専門の先生が教えてくださるので、本格的にその分野に触れることができます。私の履修している「フラワーデザイン」の授業では、地域各地でフラワーアレンジメントの講師を務める方が来学し、花の扱いから、デザインの仕方まで丁寧に教えていただけます。色々なことに挑戦できるこの学校は、私にピッタリだと感じています。

学べることを全て学び、将来の可能性を広げていきたいです。



総合文化学科2年

おかだ もか
岡田 萌楓さん(愛知教育大学附属高等学校出身)

私は、1年次、2年次を通して教職課程と心理・人間関係の分野をメインに専攻しています。教職課程では、教育の歴史や教授法に関する講義を受けるだけでなく、模擬授業を何度も行いました。また、1年次では介護等体験や養護学校実習、2年次では地元である愛知県の中学校で4週間の教育実習を行いました。精神的にも身体的にも辛いと感じる時期はありましたが、小学生の頃から目指していた夢が現実になんて近づく、というワクワク感が私を支えました。

今年度は、教員採用試験合格に向けた面接練習や小論文の練習、筆記試験の勉強に取り組んでいます。教員採用試験は狭き門ですが、一つのことには没頭できる私の性格を生かして、絶対に自分の手で夢を掴み取ります！

新しいものを生み出す覚悟、責任、そして喜び

総合文化学科

上女スイーツプロジェクト



上田の和菓子屋「玉喜屋」さんのご協力のもと「上女らしさ」を表現したお菓子をつくり、アリオ上田のスイーツフェスタで販売しました。好奇心で始めた学生たちが、プロとの共創やお客様への販売を通して「社会に新しいものを生み出す覚悟、責任、喜び」を体験しました。商品名の“Sou”には、創造する楽しさと、日々頑張るみなさんに寄り添い、「元気になってほしい、一緒に頑張ろう!」という想いを込めています。

3日間計100個、連日発売!

上田女子短期大学は2023年に創立50周年を迎えました！

50周年記念事業の一環として「ロゴマーク」及び「キャッチコピー」を募集しました。令和4年11月28日から1月31日までの間、在学生及び卒業生を対象にロゴマーク・キャッチコピーの募集を行ったところ、ロゴマーク11点、キャッチコピーは12点の応募がありました。それらの作品の中から創立50周年記念事業実行委員会による厳正なる審査の結果、上田女子短期大学50周年記念ロゴマーク・キャッチコピーが選出されました。

【ロゴマーク】

～ 想 い ～

50周年の年が卯年であること、本学のイメージキャラクターがウサギであることをかけて、ウサギが空を駆け抜けていくような晴れ晴れしい未来をイメージしました。下に書いてある線は、本学のロゴマークをイメージしています。

製作者：長野県 令和4年度
総合文化学科卒業生



つむぐ、未来を。
つなぐ、未来へ。

【キャッチコピー】

～ 想 い ～

「つむぐ、未来を。」というのは、本学で学ぶ学生が自分の夢を叶えられるように。「つなぐ、未来へ。」は、自分が学んだことを未来へとつないでほしいとの願いを込めました。

製作者：長野県 平成27年度
幼児教育学科卒業生

★50周年イベント

50周年を記念して、様々なイベントを行います。ぜひ皆様お誘い合わせの上、おでかけください。

日 程	イ ベ ント	場 所
9月 8日(金) ～10日(日)	上田女子短期大学 50年のあゆみ 現在、そして未来へ	アリオ上田
9月20日(水)	上田女子短期大学創立50周年式典	上田女子短期大学
10月21日(土)	新潟支部総会 50周年記念模擬授業	新潟県上越市
10月28日(土)	地域・同窓生のためのオープンキャンパス	上田女子短期大学
11月 4日(土)	学びの地上田へ恩返し ～上田クリーン大作戦～	
11月11日(土)	北野講堂シリーズ 芸術の森 黒坂黒太郎氏 コカリナ演奏	上田女子短期大学
1月13日(土)	芸術表現発表会&学びの展覧会	上田女子短期大学

6月17日(土)50周年イベントとして、信州国際音楽村で開催された「信州ルネッサンス2023」にて参加型の親子コンサートをを行いました。



新任 教職員 紹介



総合文化学科 講師
井上 奈智
担当科目：図書館概論 他



入試広報課 室長
両角 文秋



学生支援課 課長
江元 玲



地域連携センター・
大学改革室 室長
原山 健一



地域連携センター・
大学改革室
樫本 あるむ

高大連携事業

第9回 うえだ七夕文学賞 (上田西高等学校と共催)

応募締切日 ▶ 9月7日(木)

【選者】

短歌 ▶ 東洋大学名誉教授 神田 重幸先生
俳句 ▶ 高浜虚子の孫、「玉藻」名誉主宰 星野 椿先生
自由詩 ▶ 上田女子短期大学・上田西高等学校 教員



● 募集要項は本学のホームページに掲載しています。
たくさんのご応募をお待ちしています。



増えていく願いの数だけ笹の葉が
頭も垂れる祈りのように
(一般の部 短歌)

天の川含えぬい君に想い馳せ
(大学生の部 俳句)

背番号初めて背負う嬉しさに
煙く日差しへ飛び出してゆく
(高校生の部 短歌)

託された希望の花の水下りを
咲かせてみせる一生かけて
(大学生の部 短歌)

ふがれ星とこへむがっていくのがな
(小学生の部 俳句)

つきがみえるのはちよこくらいから
(園児の部 俳句)

前回の入賞作品
(一部抜粋です)



学生たちの 地域貢献活動

別所線ガイド

ボランティアチーム

昨年10月にガイド原稿を一部リニューアルしました。そのほかにも、地域の方へ向けての活動PRや、上田電鉄主催のイベント等への出席など、電車内だけでなくとどまらず幅広く活動しています。



Instagram
運営中

丸子中央病院 ウインターイルミネーション デザイン

丸子中央病院が毎年近隣の学校や団体等とともにデザインを考案しているウインターイルミネーション。昨年および今年は本学学生が参加しています。11月から点灯の予定です。お楽しみに！



擬人化キャラクター制作(第2弾)

アリオ上田で
展開中!



アリオ上田の擬人化プロジェクトに参加。現地へ見学に行きイメージをふくらませながら、稲倉の棚田と山家神社の化身を制作しました。

別所がある

500年以上続く雨乞いの祭「岳の幟」や、昨年新しく始まったイベント「別所温泉芸術祭」にも参加。地域の方との関わりを大切に、様々な企画に取組みます。



Instagram
運営中

上田女子
短期大学
イメージ
キャラクター
うーたん



本学のイメージカラーであるピンクのワンピースを着たウサギの女の子です。裏山をはじめとする豊かな自然やそれらを活用した学びをイメージして頭に木の葉を乗せています。また、校舎に使われているレンガをポケットの柄にしました。

公開講座



昨年度の様子
「遊びの森マルシェ
Yappa! いっしょがいいね!

今年度は2回開催予定です。決まり次第本学HPおよびSNS等でお知らせします。

芸術の森 北野講堂シリーズ2023

黒坂黒太郎コンサート

(信州上田観光大使・コカリナ創始者)

日時 ▶ 11月11日(出)
開演14:00(予定)
会場 ▶ 上田女子短期大学
北野講堂

入場無料・要申込



後援会だより

会長ご挨拶



令和5年度 後援会 会長
井出 文義

保護者の皆様には日頃より後援会活動にご理解をいただき、誠にありがとうございます。ご理解をいただき、誠にありがとうございます。

新入生は大学生活すべてが新しい経験であり、二年生は就職活動が始まり、慌ただしくも充実した日々を過ごしており、保護者の皆様も我が子を案じつつ一喜一憂する毎日ではないでしょうか。

上田女子短期大学は今年度、創立50周年を迎えます。既に上田市の各会場で学生主体のイベントが開催され、ご参加された保護者の方もいるかと思えます。関係各所よりご好評をいただいている所です。9月には記念式典を予定していますので、お楽しみにして下さい。

大学時代にしか得られない学友や教職員との日々・経験が、学生の皆にとって人生でかけがえのない二年間となりますよう、後援会は学校と共に「学生ファースト」を念頭におき、物心両面でのサポートを進めていきますので、今後とも温かなご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和5年度後援会総会・セミナー

令和5年6月3日(土)開催

6月3日(土)本学にて、総会およびセミナーを開催しました。総会では事業報告、決算報告の他、新役員の皆様を紹介しました。

総会後は、セミナーとして、『社会人になる前に改めて親子の絆を深めてみませんか?』～親子や家族のコミュニケーションを活性化させるための心理学的手法～と題し、本学・総合文化学科 遠田将大専任講師が行いました。学生生活を送るなかで、学生は「これが本当に自分がやりたいことだったのか?」と悩んだり、就職先が決まらずに焦りを覚えたりしています。そのような子どもと、どのように関わっていけば親子の絆がさらに深まるのか、心理学的な観点から紹介しました。



ビッグファン 寄贈

最近の夏は猛暑の日が続くようになりました。体育館では窓を開放していますが、熱がこもり、熱中症となる恐れがあります。そこで、後援会では、体育館で利用する「ビッグファン」を寄贈しました。



令和5年度 新潟支部総会 開催について

毎年恒例の新潟支部総会を下記の通り行います。当日は後援会長をはじめ、学長・教職員も参加し、学生生活・進路状況についてご説明します。また、今回は本学教員より、「働くて楽しい!動きを通して学ぶ子どもたち」「ホスピタリティ(心からのおもてなし)とサービスの違いとは?」の模擬授業を行う予定です。

新潟支部の会員以外で、出席を希望される方は、本学後援会事務局までご連絡をお願いいたします。

(☎ 0268-38-2352 ☒ kouenkai@jm1.uedawjc.ac.jp)

皆様のご参加をお待ちしております。



新潟支部総会の様子

日時 令和5年10月21日(土)
午前開催(予定)

場所 高陽荘(上越市)
(高田駅から徒歩7分)
☎025-522-2930

学校法人北野学園 上田女子短期大学 「創立50周年記念事業募金」について

本学は2023年に創立50周年を迎えます。1973年の開学以来、地域に根差した短期大学として着実にその歴史を積み上げ、1万人を超える卒業生を社会に輩出してまいりました。今後も地域に根差した高等教育機関として、広く社会に貢献することを使命に、教育活動に取り組んでまいります。

50周年に向けて令和3年6月より募集を開始しました「創立50周年記念事業募金」に、昨年度は後援会より30万円寄附しました。今後も、学生たちがより充実した環境で大学生活を送れるよう、会員皆様のご支援・ご理解の程よろしくお願い申し上げます。



娘へ



幼児教育学科2年

たかはし あやの
高橋 彩乃 / 母・明子

小学生の頃から、大きくなったら幼稚園の先生になるとずっと想い続けてきた娘。

授業や実習は子どもが好きだからという想いだけでは乗り越えるのが辛い時もあると思います。でもどんな時も家族みんな、彩乃の夢を応援しています！

今しか学べない事、経験できない事もたくさんあるはず。友達や先生方との出逢いを大切に、いろいろな事に挑戦し、学生生活を思いっきり楽しんで下さい。そして笑顔いっぱいの先生になってくれる日を楽しみにしています。

いま想いを語る

総合文化学科2年

よしだ はるか
吉田 遥 / 父・優介

高校を卒業して初めての一人暮らし。山梨を離れ、周りに誰も知り合いがない中で新しい生活に、初め頃は不安や心配事もたくさんあったと思います。

それでも、自分の目標のために一歩踏み出せた。その事実は、必ず自信につながります。就職活動や今後の社会人生活で行き詰まった時の心の支えになる筈です。応援しています。

今でしかできない事に思う存分挑戦して、残りの学生生活を悔いのないように過ごして下さい。



母校への入学



幼児教育学科1年

あかざわ あいみ
赤沢 愛真 / 母・梨恵

私は本学幼児教育学科の卒業生です。娘は保育園の頃から保育士になりたいと言い始め、ピアノを習い、時に私と一緒にピアノを弾いたりしてきました。高校生になり私の母校へ行きたいと言われた時は、少しビックリしましたがとても嬉しかった事を覚えています。

コロナ禍で色々我慢の生活も多かった事でしょう。でもその我慢がいつか役に立つ時があるはず。夢を持っている人はどんな時も頑張れる！今をそして残りの短大生活を沢山楽しみ、素晴らしい環境のなかで沢山学び、夢が現実になるよう努力してほしいです。

笑顔の似合う、みんなから愛される先生になって下さい。母はいつでも応援しています。

母から娘へ

幼児教育学科1年

たきざわ あいら
滝澤 愛来 / 母・彩子

娘が高校3年の夏。上田女子短期大学のオープンキャンパスに行かせていただきました。

帰ってくると「私、保育士になりたい」「上田女子短期大学に行きたい」と言い、それまで進路で悩んでいたのが嘘のように目標ができました。

私も本学の卒業生で、保育士として働いています。子どもたちの成長を保護者の皆さんと喜び合えた時が一番やりがいを感じる時です。

思い返すと私の学生生活はとても充実していて楽しいものでありました。その時の仲間とは今でも交流があります。娘も同じようにいい仲間と出会い共に学び夢を叶えてほしいと思います。



姉から妹へ

総合文化学科1年

とつか せいら
戸塚 星海 / 姉・翠羽

私は年の離れた妹がいることがきっかけで、保育士を目指し、幼児教育学科卒業後は資格を活かし、公立保育園で働いています。

妹は私の背中を追いかけ、私が保育士になってからも「自分も保育士になる」と言っていました。姉と同じ学校ならば信頼できるということで学校見学を訪れたところ、総合文化学科の多彩な授業に関心を持ったそうです。それを聞き、妹の夢が広がったことを嬉しく思いました。

高校時代はコロナ禍で出来なかったことがたくさんあると思います。2年間はあっという間ですが、仲間たちと楽しく充実した学校生活を送れることを願っています。

同窓生優遇措置について

本学の卒業生、在学学生の子女または姉妹で、総合型選抜入学試験・推薦入学試験及び一般入学試験を受験して合格した方の入学に際しては、

入学金の全額(250,000円)を免除

します(R4年度実績9名)。ただし、推薦特待生・SG特待生・資格特待生の合格者には、同窓生優遇措置は適用されません。

詳細は本学入試広報課までお問い合わせください。

実習について

幼児教育学科の学生は幼稚園、保育園、施設と様々な場で実習することを通して学びを深めています。(2年間で5回の実習)

そんな実習のスタートは附属幼稚園でのプレ実習です。園で子どもたちと一緒に遊び、生活をする中で「子どもってこんなことを楽しんでいるんだ!」と気づき、「何で?」と疑問を持ち、学校の授業で

確認をしていきます。幼稚園が隣接しているので、授業で園に出かけ、遊びの様子を目にしやすい環境です。

保育には失敗も正解もありません。そのことに気づけるよう教職員はサポートを続けています。これから保育の道を目指そうと思っている皆さん、心配に思うことはありませんので、安心して本学に来てくださいね。



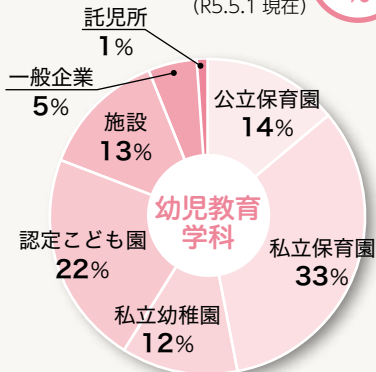
進路サポート室は、「笑顔で輝ける場所へ」をテーマに

夢に向かって頑張るあなたを応援します!

幼児教育学科

令和4年度就職率 **100%**

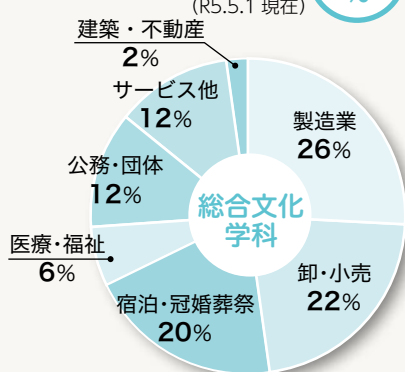
(R5.5.1 現在)



総合文化学科

令和4年度就職率 **100%**

(R5.5.1 現在)



公務員保育士合同説明会



令和4年度公務員保育士合同説明会

1年次の12月に公務員保育士合同説明会を開催します。昨年は学生が関心を寄せる8自治体が来学し、全体説明会と個別説明会を行い、各自治体の保育環境などを詳しくお聞きしました。また、試験の日程や内容を知ることで疑問を解消し、今まで曖昧だった気持ちを引き締める場にもなりました。

内定者フォローアップセミナー



毎年2月、2年生向けに内定者フォローアップセミナーを開催します。昨年度は専門職については現場で働く先生方にご参加いただき、「社会人として羽ばたくための勇気と自信」を与えていただきました。一般職については社会人になることへの不安を少しでも解消できるよう、教職員よりエールを送りました。セミナーを通して、新社会人としての心構えを再確認します。

進路セミナー

進路サポート室より

本学では、総合文化学科1年生を対象に、キャリアコンサルタントによる進路セミナーを、1年前期6月から年度末まで実施し、進路決定に向けた手厚いサポートを行っています。就職・進学への選択はもちろん、アルバイト経験の無い学生もいることから、そもそも「働く」とは何か?から学びます。世の中にはどんな職種や企業があるのか、卒業生はどんな進路を選択したのか等、今後の進路選択について回を重ねることに深く学ぶことで、「社会」についての知識を深めます。セミナーの他にも、夏季休暇中には事業所見学や卒業生と企業を招いた事業所交流会を学内開催し、「社会人となって働くこと」を自分事として捉える意識を、早期から育み、今後の就職活動に備えます。



資格NEWS

幼児教育学科

令和4年度から、2年間の通常授業カリキュラムの学びの中で「准学校心理士」「自然体験活動指導者養成講習(NEARリーダー)資格」取得が可能となりました。



【准学校心理士】

学校生活におけるさまざまな問題について、「学校心理学」の専門的知識と技能をもって、心理教育的援助をする教育相談員やスクールカウンセラーとして働く「学校心理士」を受験するための基礎資格です。保育専門科目で心理学関連の知識を学びます。令和4年度は12名が取得しました。

総合文化学科

昨年度も多くの学生が資格に挑戦・合格し、20名25資格に報奨金が授与されました。

令和4年度資格試験合格者

資格試験名	合格者数
MOS (Word,Excel,PowerPoint)	23
日商PC検定3級	1
色彩検定2級/3級	5
パーソナルカラーリスト検定	3
日商簿記検定3級	4
秘書検定2級	12
ピアヘルパー	5
ブライダルコーディネーター技能検定3級	8
アソシエイトブライダルコーディネーター認定試験	20
医療事務技能審査試験	14

編集後記

今年はWBCで日本が優勝しました。準決勝、ここまで調子の悪かった選手が、最後に決めた場面では感動を覚えました。何事も諦めない気持ちが大切であり、日本の野球も「進化」していると感じることができました。

本学は2023年、創立50周年を迎えました。50年を振り返るとともに、この先の50年をどのように「進化」すべきかを考える必要があります。社会の要求や学生の個性は日々、変化していきますので、本学も変化に対応し、必要とされる短大へ進化したいと思います。(片)



学校法人 北野学園
上田女子短期大学
幼児教育学科 / 総合文化学科

〒986-1214 長野県上田市下之郷乙620
TEL0268-38-2352(内)
FAX0268-38-7315
E-mail info@uedawjc.ac.jp



Instagram



←上田女子短期大学通信のバックナンバーはこちら

ホームページ <http://www.uedawjc.ac.jp>